水道事業をPR！第12回産業フェスティバル

■多くの皆さんに水道事業をＰＲ

地元のモノづくり産業や企業の紹介、市民との触れ合いの場を提供する「第１２回登米市産業フェスティバル」が１０月２３日（日）に登米市迫体育館・中江中央公園を会場に開催されました。

登米市水道事業所では、水道に関するパネルや模型の展示、水道クイズ、ろ過実験などを行って市民の皆さんへ水道事業を知って頂きました。

今回は、多くの人が訪れ大いに賑わいを見せた産業フェスタの様子をお伝えします。

■水道事業所のイベント

◆水道クイズにチャレンジ！！

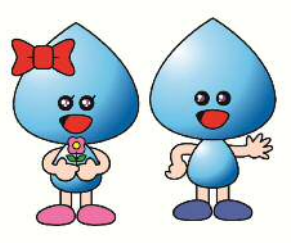
登米市水道事業に関するクイズには、午前の部・午後の部併せて約４００人の方々にチャレンジして頂きました。

答えのヒントがブース内に展示されていたため、参加いただいた皆さんには、ヒントを探してブース内各所をじっくりと見てまわって頂きました。

クイズの全問正解者や参加者の方には、景品としてメモ帳やペン、災害時に役立つ給水袋などを贈呈しました。（問題＆回答を下記に掲載しています。）

身近な水道に関するクイズに、大勢の皆さんがチャレンジしました。

ブース内にあるパネルをよく見るとクイズのヒントが隠れています。



◆どのようにして水はきれいなるの？「ろ過実験」

いつも飲んでいる水がどのようにしてできるのかを知ってもらおうと、浄水施設の運転管理を委託している明電舎・アイ・ケー・エス JV と協力し、水道水のろ過の様子を皆さんの目の前で実演しました。

ろ過実験では、見学者の方に薬品の注入などを体験してもらいながら、濁った水がきれいになっていく様子を実際に見て頂きました。

実験をしながら実際の浄水場の処理工程を交えて説明しました。

各工程において見学者に体験をして頂きました。

◆水道メーターってどんな仕組みになっているの？「水道メーター器展示」

このブースでは、各家庭で実際に使用されている水道メーター器を展示しました。メーター器模型やパネルを使用し、メーター器の仕組みや指針の読み方などについて、皆さんに知って頂きました。

メーター器模型を展示して構造を説明しました。

メーター器を確認することで、宅内の漏水を発見することができます。

◆地震に強い水道管って？　「耐震管摸型展示」

製造メーカーの㈱クボタからスタッフを招き、地震に強い水道管（耐震管）が大きな揺れを受けても壊れない仕組みを見ることができる模型や実物の耐震管を展示して、耐震管について知ってもらいました。

耐震管の実物展示。継ぎ手部分が稼働することで揺れに強くなっています。

地震によって実際に水道管が動く様子がわかる耐震管模型。

◆飲み比べて違いが分かる？「各浄水場の飲水体験」

飲水体験では、登米市で作られている水道水の８割以上を占める保呂羽浄水場【登米】（水源：北上川）の水と市販の水との飲み比べを行いました。

普段水道水を飲まれない方もいると思いますが、冷した状態で味の違いがわかるかどうか試して頂きました。

水道水も市販の水も冷せば味の大差はなく「おいしい」という感想を多く頂きました。

◆新施設完成！　「新田配水池見学会」

今回の産業フェスティバルにあわせ、震災時に断水期間の長かった迫川西部地区への安定した給水を行うことを目的に今年３月に完成した新田配水池の見学会を実施しました。

参加者を募集して新しくできた配水池を見学して頂きました。

建物の内部も見学して頂き、水道施設への理解を深めて頂きました。

「委託事業者 PR ブース」

水道事業所が業務を委託している事業者による PR ブースでは、水道管の漏水調査に使用する特殊機械の展示や、薬品の量によって水中の汚れが固まり沈殿していく様子がわかるジャーテストの紹介、水の中にコインを落とすゲームなどを行いました。

水中の当たり的を目がけて、コイン落としに挑戦（水道お客様センター）

特殊な漏水調査機器の展示・漏水音の体験（フジ地中情報㈱）

最適な薬品注入量を調べる装置ジャーテスト（明電舎・アイ・ケー・エス JV）

各メーカーより頂いた数多くの記念品は、クイズ参加者にお配りしました